

コンテンツ動画

好感度アップ豆知識

(見せ方編)

コンテンツ動画のためのスライド作成 好感度アップチェックポイント

1スライド1テーマ

1枚のスライドにいろいろな情報を入れず、シンプルにしましょう。
本当に必要なことだけにし、できるだけ余計なものを削りましょう。

文字数は少なく、文字は大きく

上記同様、情報は必要最小限に、パッと見てわかるようにします。
スマホでもわかりやすい文字の大きさを心がけましょう。

絵や写真は大きく

細かい描写の絵や写真は、小さな画面ではよくわかりません。
シンプルでわかりやすい画像を大きく表示させるようにしましょう。

わかりやすい言葉、表現

パッと見でわかりやすい言葉を使いましょう。

「10歳の子供でもわかる言葉」で、というのは
プレゼンの基本としてよく言われていることです。



全ページでルールを統一する

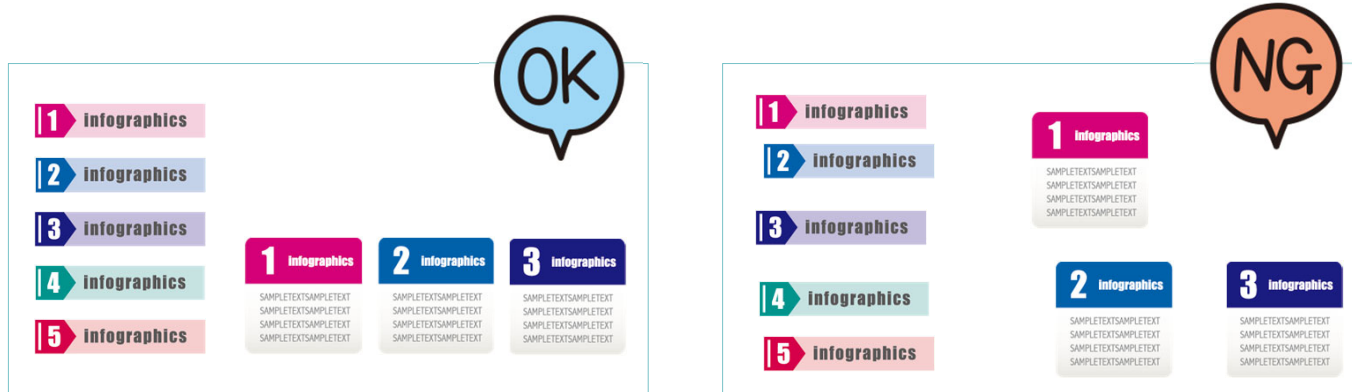
文字の大きさ、書体、見出しのデザイン、スライド全体の色調はもちろん、文字や画像の配置にも、規則性を持たせて統一しましょう。

「ここにはこれ」という安心感で断然スライドが見やすくなります。

文字や図形を整列

文字列や画像を並べる時は、きれいにそろえましょう。

ガタガタしていると安っぽく見えてしまいます。





色や画像を多用しない

目立たせたいからといって、色や画像を使いすぎるのは逆効果です。

強調したいことだけ目立たせるようにしましょう。

テーマカラーを決める

メインカラー、サブカラー、アクセントカラーを決めましょう。

ちなみに、あせつとらぼは、メインカラーが 、サブカラー 

アクセントカラーが 、たまに  です。

ゴールド

補色、明るさで見やすく

配色で悩んだら、一番簡単でわかりやすく見やすい「補色」と言われている組み合わせや、明度の差で決めましょう。

下図のように、対角線の色同士は相性が良いとされています。

図形に文字を重ねる際は、明度差のあるものを組み合わせると見やすいです。



見やすい明度差

目の動きは上→下、左→右

「Zの法則」とか「Fの法則」などと言われるように、人の視線は左から右、上から下という流れで動きます。

その動線に合わせてレイアウトすると見やすいスライドになります。

さいごに

「見せる」「目立たせる」にとらわれてしまうと、色やデザイン盛り盛りのスライドになりがちです。

大切なのは「感覚的にパッと見てわかる」ということだと思います。

最近では動画も、パソコンよりもスマートフォンで見る人のほうが多いと言われていいますので、**小さな画面でもわかる**というのが重要ですね。

アニメーションを多用するのも、意外と視聴者には見にくい場合があります。

「音声編」でもお伝えしましたが、作ったものを第三者に見せて感想をもらうというのは、おすすめです。

ブラッシュアップして、好感度アップしたスライドで録画してみてください。

あせつとらぼ*Mizuna